2012年３月９日

各　位

会 社 名　イ オ ン 株 式 会 社
代表者名　取締役兼代表執行役社長　岡田 元也
（証券コード　8267）
問合せ先 執 行 役　社 長 室 責 任 者　平林　秀博
（電話番号　043-212-6042）

当社子会社（マックスバリュ中部株式会社）の業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、当社連結子会社であるマックスバリュ中部株式会社（名証：コード8171）が、2011年３月16日に公表した2012年１月期通期（2011年２月１日～2012年１月31日）の連結・個別業績予想を添付資料のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

尚、本件による当社の連結業績予想の変更はありません。

以　上

２０１２年3月９日

各　　位

会 社 名　　マックスバリュ中部株式会社
代表者名　　代表取締役社長　正木 雄三
（コード番号：８１７１　名証第２部）
問合せ先　　取締役総合企画部長　小泉　覚
（ＴＥＬ　０５９８－５１－３１２８）

業績予想の修正及び特別損失の計上並びに繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、２０１１年３月１６日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別損失の計上見込み、繰延税金資産の取り崩しについても併せてお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（金額の単位：百万円）

2012 年 1 月期通期連結業績予想数値の修正（2011 年 2 月 1 日～2012 年 1 月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１２３，２００	２，１７０	２，３００	２１０	８円２６銭
今回修正予想（B）	１２２，３３０	１，８２０	１，９１０	△１１５	△４円５２銭
増 減 額（B－A）	△８７０	△３５０	△３９０	△３２５	－
増 減 率　（%）	△０．７	△１６．１	△１７．０	－	－
（ご参考）前期通期実績（2011年1月期）	１１８，３９７	２，１５９	２，２９４	４４７	１７円６１銭

2012 年 1 月期通期個別業績予想数値の修正（2011 年 2 月 1 日～2012 年 1 月 31 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	１２３，２００	２，１５０	２，２８０	２００	７円８７銭
今回修正予想（B）	１２２，３１０	１，９２０	２，０００	△３０	△１円１６銭
増 減 額（B－A）	△８９０	△２３０	△２８０	△２３０	－
増 減 率　（%）	△０．７	△１０．７	△１２．３	－	－
(ご参考)前期通期実績（2011 年 1 月期）	１１８，４０７	２，１４３	２，２７８	４４０	１７円３４銭

修正の理由

通期予想における営業収益につきましては、連結・単体ともに概ね計画どおりとなる見通しとなりましたが、利益面では下期に４店舗を新規出店したことに加え、プロセスセンターの稼動を当初計画より早めるなど、将来の成長戦略に基づく設備投資を実施したことにより、設備費等の一時経費が増加し、連結・単体ともに営業利益、経常利益が前回発表の数値を下回る見通しとなりました。また、当期純利益につきましては、項番２の減損損失等、特別損失は当初想定額を下回る見通しとなったものの、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しとして、法人税等調整額に連結で２５４百万円、単体で２５３百万円を計上する見込みであることから、前回予想を下回る見通しであります。

以上の理由により、２０１２年１月期通期の業績予想を修正いたします。

２．特別損失の計上

減損損失６８６百万円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、店舗に係る減損損失６７７百万円、遊休資産等に係る減損損失９百万円を特別損失に計上いたしました。

３．繰延税金資産の取り崩し

２０１１年１２月２日に公布された「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、２０１４年１月期以降に適用される法定実効税率の変更に伴う影響により、２０１２年１月期において繰延税金資産を取り崩すこととし、法人税等調整額に連結で２５４百万円、単体で２５３百万円を計上する見込みであります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上